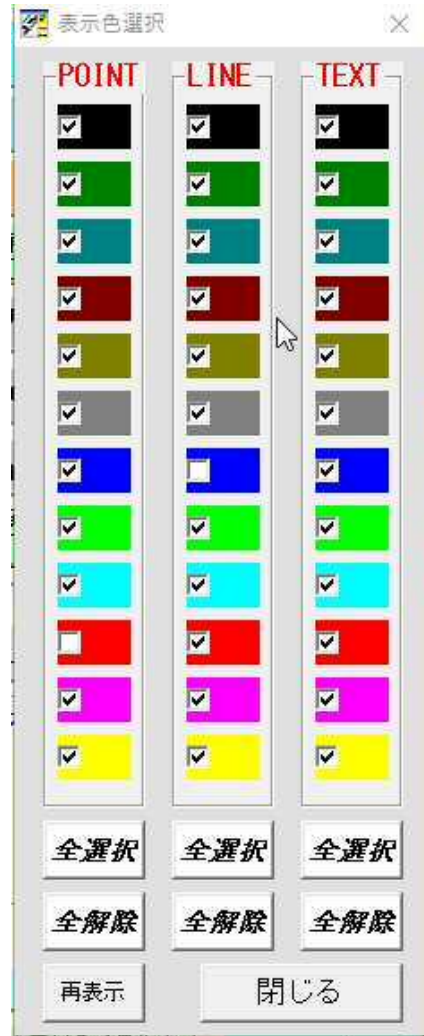


NMEAXY.EXEが起動していないときは、GPS表示チェックで自動的に起動します。
GPSの通信設定は、NMEAXYで行ってください。



色による非表示設定です。たとえば多角点を青、境界を赤の設定にしておくと、ポイント赤のチェックを外すことにより多角点のみ表示させることができます。



SINA座標画地表示スイッチ

画地の構成座標を非表示にします。多角点のみを表示したい時などに使います。

地番および画地属性を表示します

SIMA登録します。全体を選ぶと画地も登録します。

画地線の表示色を変更します

「P」は、SIMA座標とポイント名を検索します。sima座標の名称が数字のみの時は、先頭にスペースを入れてください。

「T」は、テキストを検索します。部分的な一致でもヒットさせるときは「部分」にチェックしてください。

「地」は画地SIMAの番地を検索します。

チェックを外すと、SIMA座標名称、ポイント名称を非表示にします。

チェックを外すと、第2名称が「済」のポイントを非表示にします。未測量点をわかりやすくするためです。

各データの表示非表示スイッチです。それぞれ編集モードに入ると、非表示にしているも自動的にチェックが入ります。

各データの使用量状況です。

現在の表示位置をWEBブラウザで表示します。

SIMA座標管理番号の範囲を指定し表示を選択します。

座標値指定画面表示

地理院WEBから、入力したラインの標高を連続して取得し別のSIMAPLOTを起動し、断面図を表示します。

地理院WEBから、マウス位置の標高を取得し表示します。動作が遅くなりますので、通常はチェックを外してください。

